

Press Release

平成 25 年 12 月 20 日
高原木材有限会社

〒866-0034 熊本県八代市新港町 3 丁目 2-14

熊本県産スギ材を用いた地中利用の実証実験を公開 ー有明粘土地盤における支持力特性の検証ー

高原木材有限会社（社長：石松勇志）は、熊本県熊本市南区海路口町地内で実施中の「熊本県産スギ材を用いた地中利用の実証実験」を、本日関係者向けに公開しました。

本実証実験は、熊本県産木材利用開発推進事業に伴い、地域材を利用した試験研究として実施するもので、2013 年 11 月に開始いたしました。本事業では、熊本大学（工学部社会環境工学科 大谷教授）、熊本県林業研究指導所、兼松日産農林株式会社が技術協力を行っています。

本工法は、丸太を地盤に打設することによって有明粘土地盤に対して不同沈下を抑止する工法です。木材の地中利用拡大を目指して地盤改良工法の材料に熊本県産スギを使用することで、主に小規模建築物や戸建て住宅での適用が期待されます。今回の実験で、実際の地盤での実施工が可能で、小型の施工機械で低振動・低騒音の施工が可能であることが実証されました。今後、地中に丸太を打設することによる軟弱地盤対策効果、カーボンストック効果についての解析などを行い、検証して行く予定です。

公開実験には、大学、官公庁、民間会社などから多数の参加者がありました。本工法および地盤調査結果の説明会と丸太打設状況の見学会の後、活発な質疑応答や意見交換があり、軟弱地盤対策および木材を用いた地球温暖化防止対策への関心と期待の高さがうかがえました。

今後は本工法の開発を進めていき、設計法、施工法および品質管理方法を確立して、実用化を図っていきます。



使用した丸太



公開実験の様子



小型施工機械による丸太の打設状況



載荷試験状況

■プレスリリースおよび技術・資料に関するお問い合わせ
高原木材有限会社 中村大樹 TEL：0965-37-2800